

撤収手順



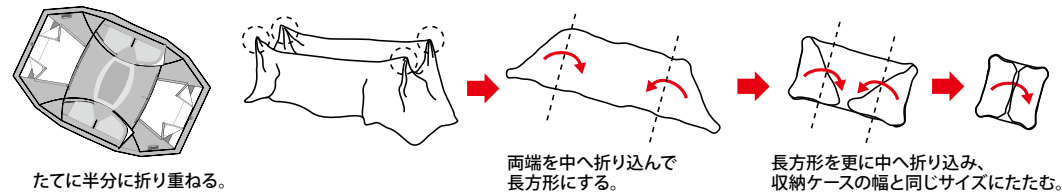
Model 2000036432

STEP 1 ルーフフライ、吊り下げていたインナーテントを取り外します。フライシートを固定したペグ、ロープ、ポールをすべて外し、下図のようにしてたたみます。



注意

テントを濡れたままで収納しますと防水効果が著しく損なわれる為、ご使用後はフライシート・インナーテントの汚れをよく落とし、十分乾かしてから収納・保管してください。

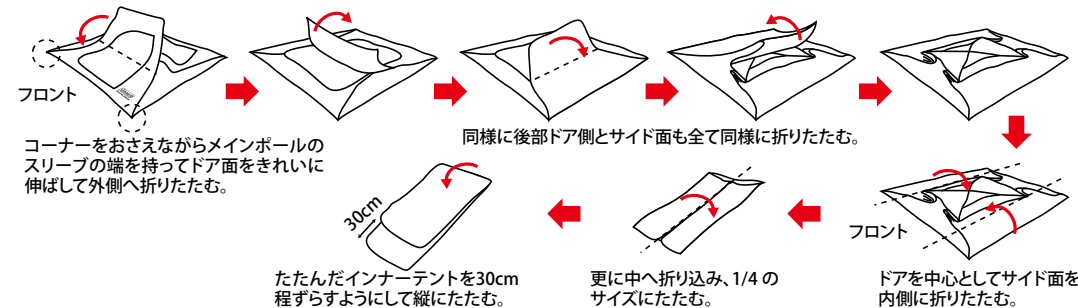


4S WIDE 2-ROOM CURVE

[4S ワイド 2 ルーム カーブ]

取扱い・組立て説明書

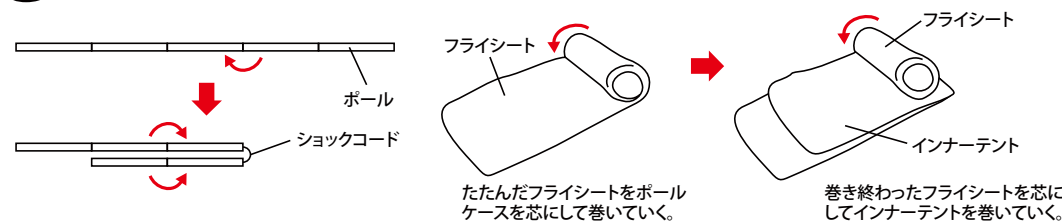
STEP 2 取り外したインナーテントを広げ、空気を逃がすために前後のドアの下部をあらかじめ開けておいてから、四隅をきれいに広げ四角形になった状態で、下図のようにしてたたみます。



注意

使用後は汚れを落とし、十分に乾かしてから収納、保管してください。濡れたままの状態での収納しますと、色移りやカビ発生の原因となります。

STEP 3 ポールを全ておりたたみポールケースに収納します。フライシートとインナーテントを下図のように巻いて、キャリーバッグに収納して完了です。



注意

ポールを収納する際は、真ん中から折りたたむようにすると、ショックコード(ゴム)全体に均一にテンションがかかり、ショックコードの寿命をのばす事ができます。キャリーバッグに収納する際は、固く巻かないと入らない場合があります。



ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

お問い合わせ先

コールマンカスタマーサービス：0120-111-957

受付時間：月曜日～金曜日（祝祭日を除く）10:00～17:30

この取扱い説明書は大切に保管してください。

この度はコールマン製品をお買い上げいただき誠に有難うございました。設営の際には水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、石や木の枝等、本製品を傷つけるおそれのあるものは、あらかじめ取り除き、整地してから設営してください。

組立・使用上の注意及び禁止事項



危険

この警告を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、人が死亡、または重傷を負う事故が想定される内容を表しています。

- テント内での火気の使用は、大変危険です。一酸化炭素中毒等、生命をおびやかすおそれがありますので、絶対におやめください。
- 台風、暴風雨、落雷等の異常気象の際は危険ですのでテント、タープの使用はお避けください。
- 河原の中洲や崖下などの増水、落石の危険のある場所でテント、タープを設営しないでください。



注意

この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、又は物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- キャンプ場へお出かけの前に全ての部品が揃っているか確認してください。
- テント、タープの設営は2人以上で行ってください。無理な設営はポールの破損や本体破れの原因となります。
- テント、タープの設営の際はグローブを着用してください。
- ポールを伸ばす際は各節を完全に差し込んでください。また、指を挟まないように注意してください。
- ポールを伸ばす際は周囲に十分に注意してください。近くに人がいないことを確認してください。
- テント本体を立ち上げる際はポールのはね返りに注意してください。
- ペグを打つ際にハンマーで指を打たないように注意してください。
- 小さいお子様にポールの組み立てやペグ打ちの作業をさせないでください。
- 風が強い時はテント、タープの設営を行わないでください。本体が飛ばされて思わぬ事故やポール折れ、本体破損の原因となります。
- テント、タープ設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、風の影響を受けにくい場所を選んでください。
- 石や木の枝等、テント、タープを傷つけるおそれのあるものはあらかじめ取り除き、整地してから設営してください。
- テント、タープ本体はペグとロープで確実に地面に固定してください。風で飛ばされたり雨水が溜まって思わぬ事故につながる場合があります。
- テント、タープを設営する場所によっては付属のペグが使用できない場合があります。あらかじめ行かれる場所の地面の状態を確認しておいてください。
- テント、タープから長時間離れる場合は必ず撤収してください。急な天候の変化、突風などにより、テント、タープが飛ばされて思わぬ事故の原因となります。
- 結露について
テントのフライシート、タープの生地には防水加工が施されていますので、外気との温度差が大きいと生地の内側の壁面に水滴がつくことがあります。これは水漏れではありません。テント内の換気を行うことで改善することができます。

収納・管理の注意



注意

この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、又は物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- 使用後は汚れを落とし、十分に乾かしてから収納、保管してください。濡れたままの状態での収納しますと、色移りやカビ発生の原因となります。
- 撤収時、雨などで本体を乾かせない場合は、持ち帰ったあとできるだけ早く乾燥させてください。そのまま放置しますと色移りやカビ発生の原因となります。
- 汚れを落とす場合は、固く絞った布で拭き取りよく乾燥してから保管してください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤の使用は、色落ち、変色およびプリントや樹脂加工の剥がれの原因になります。
- ポール本体に付いた砂や土はきれいに拭き取ってから収納してください。また、濡れたまま収納しますと腐食の原因となります。
- 本体、収納ケースは洗濯しないでください。
- 幼児、子どもの手の届かない場所に保管してください。

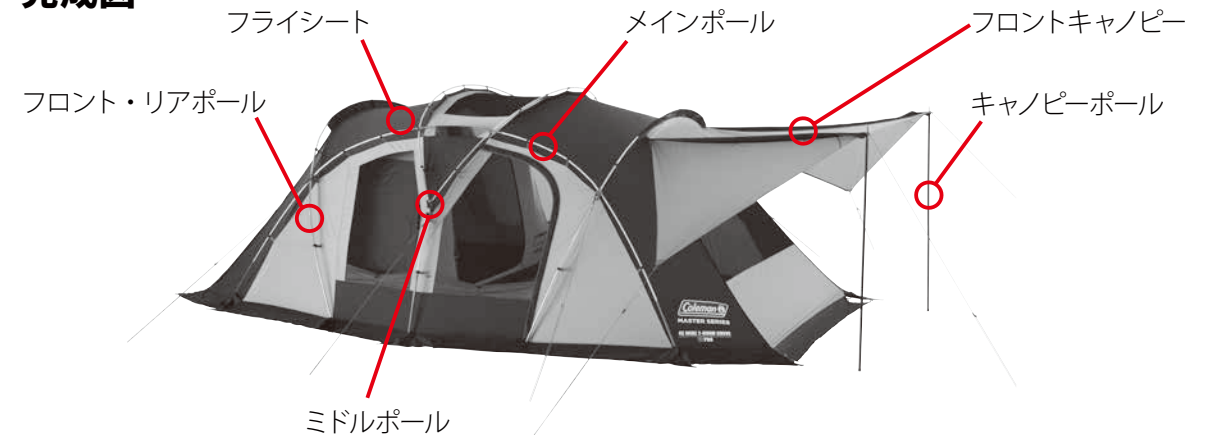
各部の名称・セット内容

セット内容

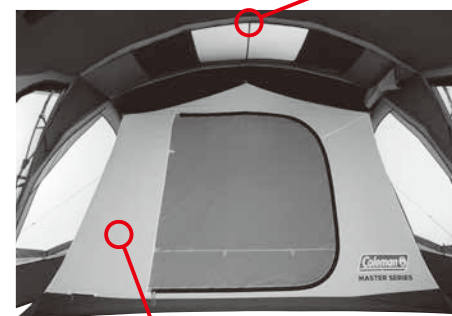
お出掛けになる前に一度、パーツ等の不足がないかご確認ください。

●フライシート	1張
●インナーテント	1張
●ルーフフライ	1張
●メインポール (シルバー / レッド)	2本
●フロント・リアポール (シルバー / ブルー)	2本
●ミドルポール (シルバー / ゴールド)	2本
●キャノピーポール (ブラック)	2本
●ロープ	13本
●スチールペグ	27本
●ハンマー	1ヶ

完成図



[インナーテント]



インナーテント

[ルーフフライ装着時]



※フライシートにあるランタンフックの耐荷重は3kgです。

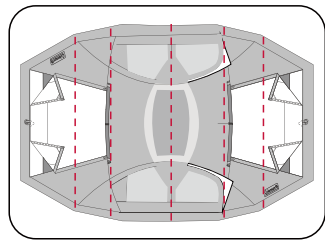
※設営時のポイント

本製品は、各ポール、スリーブ、ループの一部に塗装を施しており、ポールをスリーブに通す際やループのエンドクリップにセットする際は、それぞれ同じ色のパーツにセットすることで、簡単に設営できます。

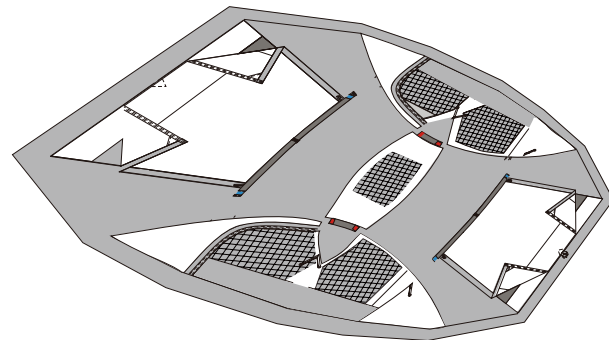
設 営 手 順

I フライシートを広げる

STEP 1 フライシートを広げます。
スタンディングテープのバックルがすべてとまっているか確認します。



スタンディングテープは、フライシートの内側に5本あります。



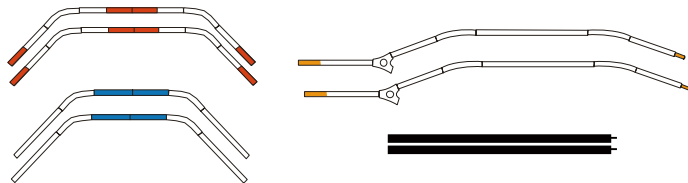
II ポールをセットする

STEP 2 メインポール、フロント・リアポール、ミドルポール、キャノピーポールそれぞれを伸ばします。



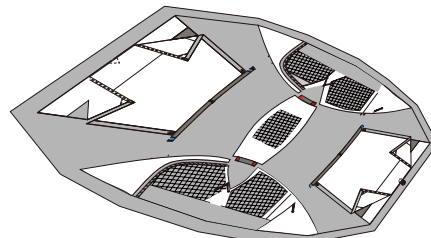
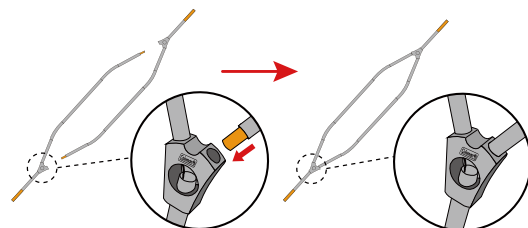
注意

ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。
不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。



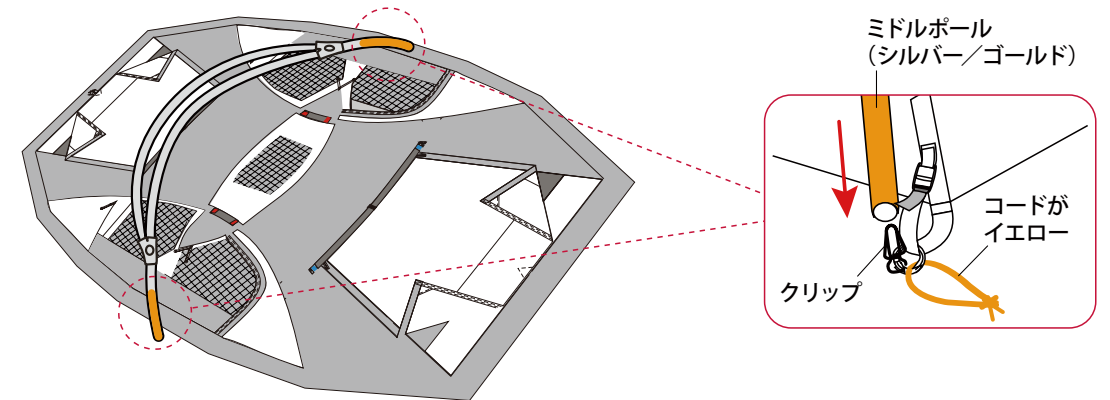
III ミドルポールをセットする

STEP 3 ミドルポール（シルバー／ゴールド）を図のようにつなげ、広げたフライシートの中心に置きます。



※2つのポールをセットして、コールマンロゴが外側になるように、フライシートの上に置きます。

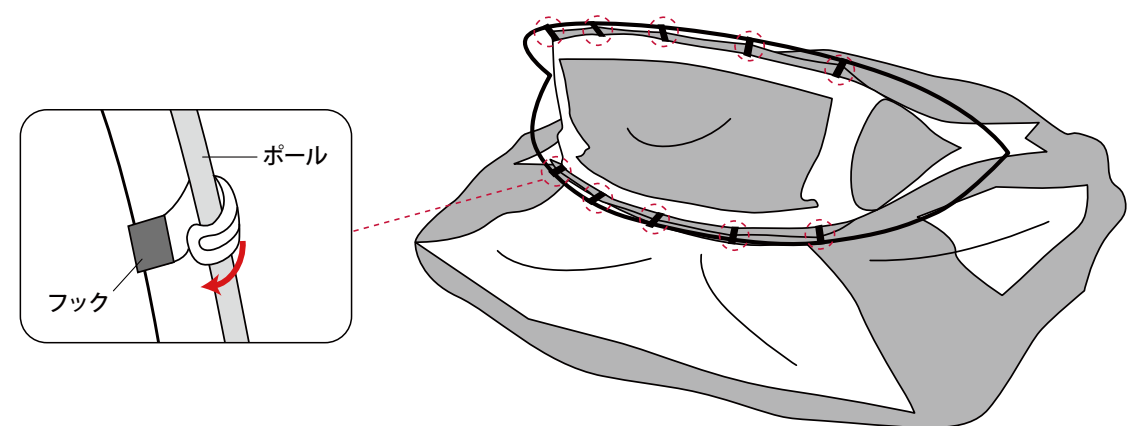
STEP 4 ミドルポール（シルバー／ゴールド）を、フライシートのクリップ（コードがイエロー）に差し込みます。
ポールをクリップに差し込むと、ポールは図のようにアーチ形になり、フライシートの上に倒します。



注意

ポールをクリップに差し込む際、指をはさまないように注意してください。

STEP 5 アーチ形になったミドルポール（シルバー／ゴールド）に、フライシートの天井中心部分にあるメッシュそばのフックをひっかけていきます（各ポール5か所、計10か所）。

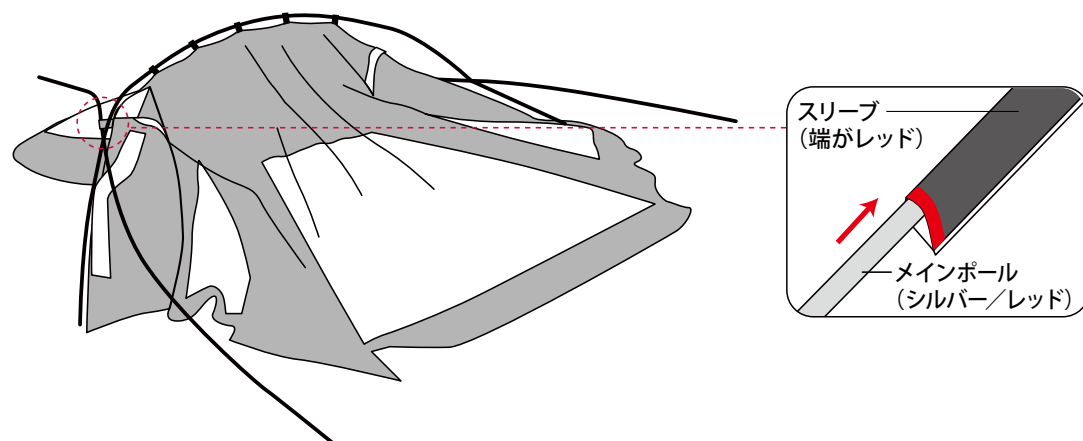


注意

フックをポールにかける際、指をはさまないように注意してください。

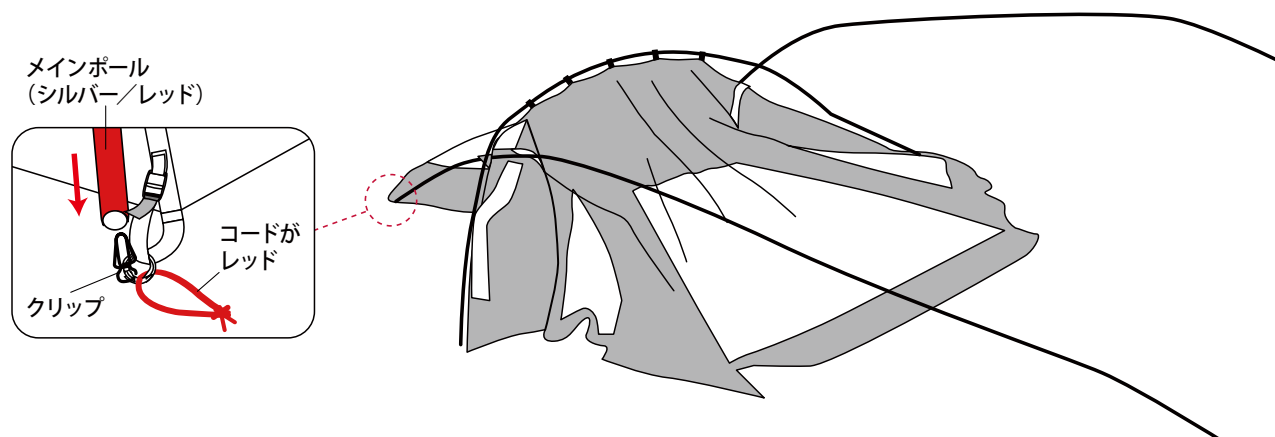
IV メインポールをセットする

STEP 6 メインポール（シルバー/レッド）をテントの左右にあるスリーブ（端がレッド）に通します。その際、メインポール（シルバー/レッド）がミドルポール（シルバー/ゴールド）の上側になります。



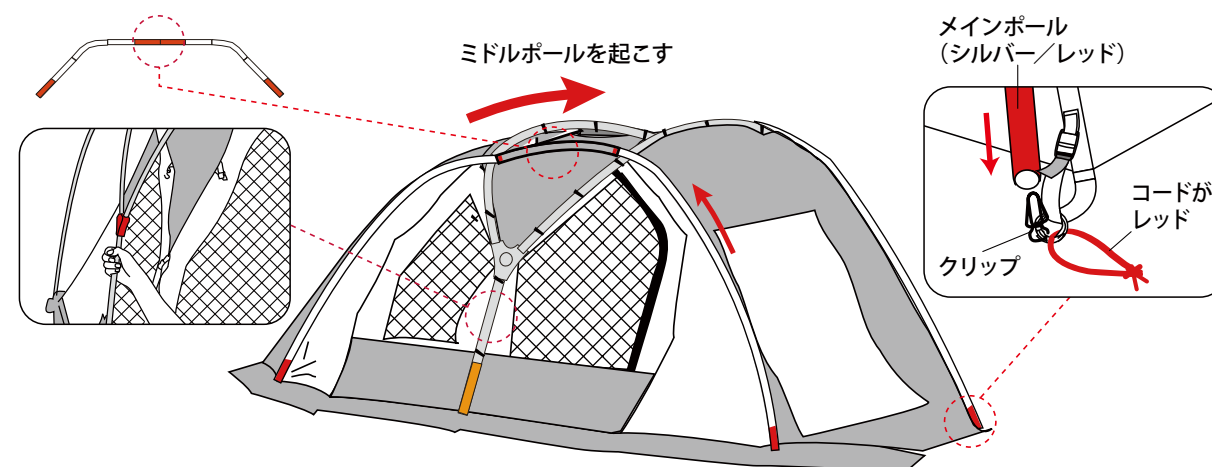
注意 ポールをスリーブに通す際、引っ張らず必ず押し入れてください。

STEP 7 メインポール（シルバー/レッド）を、フライシートの前または後方のクリップ（コードがレッド）にポールを差し込みます。



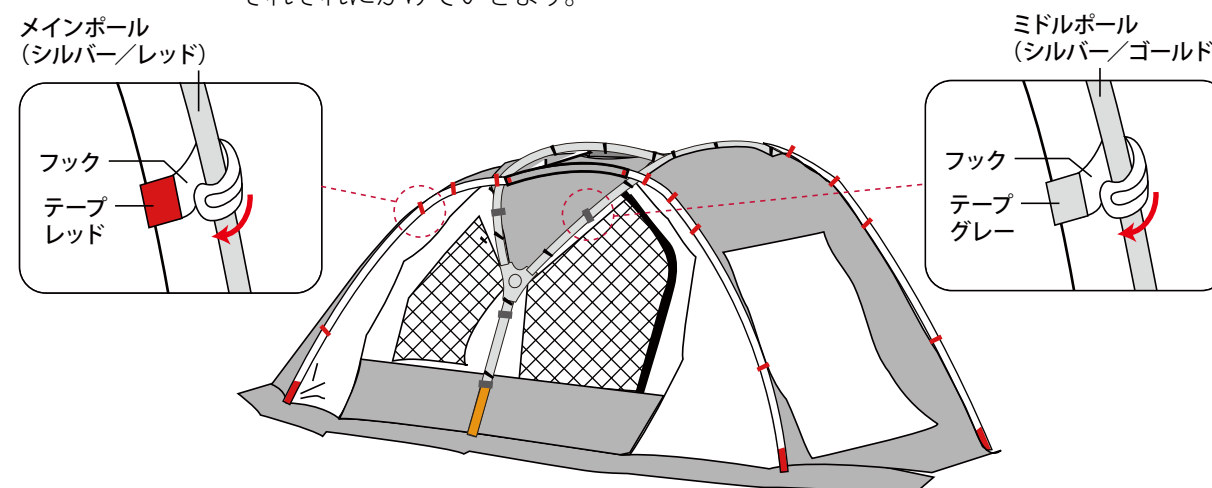
注意 メインポールとメインポールは交差しません。ポールをクリップに差し込む際、指をはさまないように注意してください。

STEP 8 まだクリップで固定されていない側のメインポール（シルバー/レッド）を片方の手で持ち、もう片方の手でミドルポール（シルバー/ゴールド）を持ちます。ミドルポールを引き寄せ立たせて行きながら、メインポールをクリップで固定されている方に押し、メインポール中間のレッドがスリーブ（端がレッド）の中心に来るように位置を合わせます。まだ、クリップで固定されていない側のメインポールを、フライシートのクリップ（コードがレッド）にポールを差し込みます。



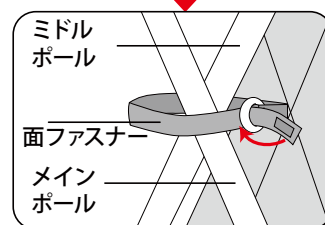
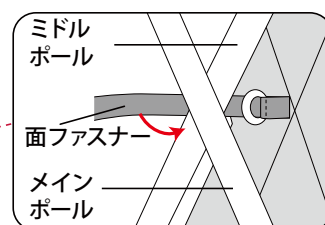
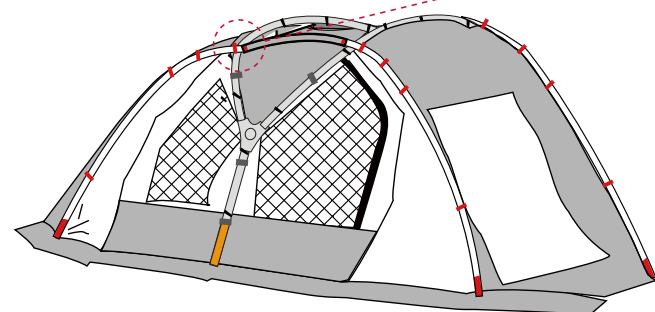
注意 ポールをクリップに差し込む際、指をはさまないように注意してください。

STEP 9 フライシートについているフックをポールにかけ固定します。ミドルポールにテープがグレーのフックを、メインポールにテープがレッドのフックをそれぞれにかけていきます。



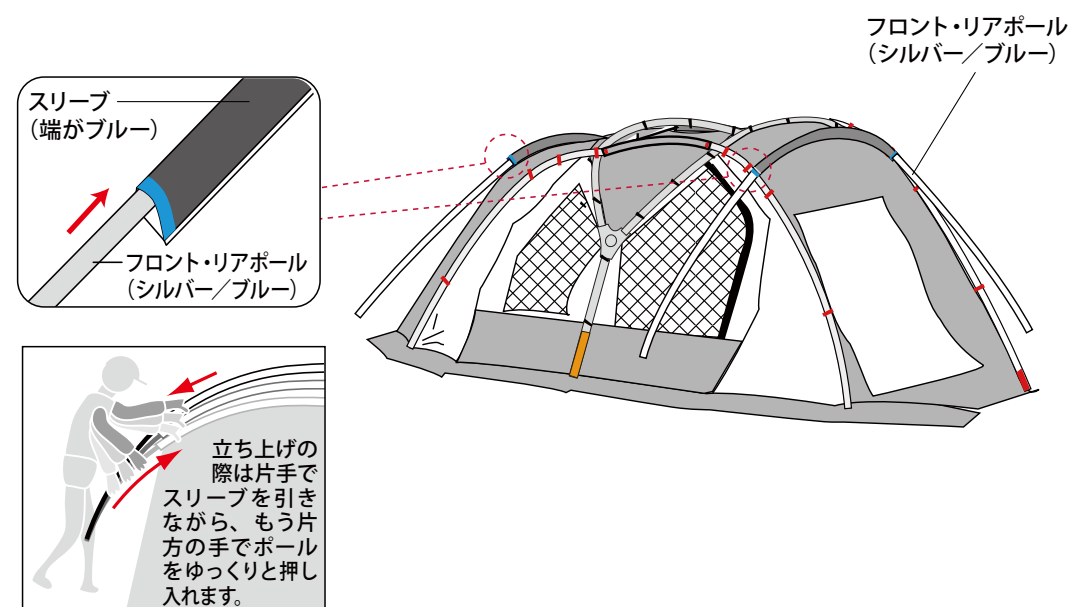
注意 フックをポールにかける際、指をはさまないように注意してください。

STEP 10 ミドルポール（シルバー/ゴールド）とメインポール（シルバー/レッド）の交差ヶ所を面ファスナーで固定します。



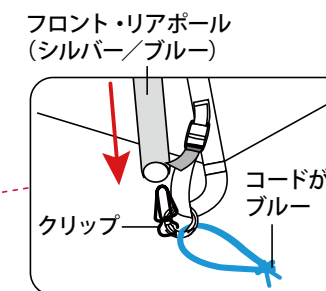
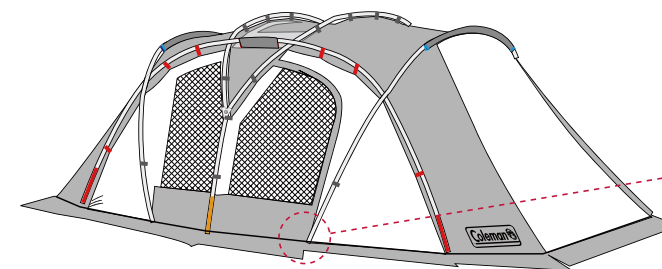
V フロント・リアポールをセットする

STEP 11 フロント・リアポール（シルバー/ブルー）をスリーブ（端がブルー）に通します。フロント・リアポールはメインポールの上側になります。



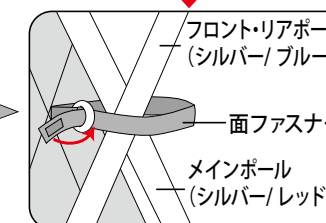
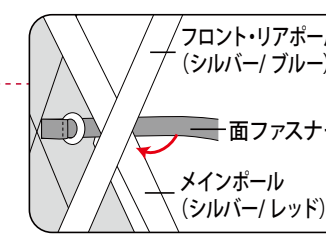
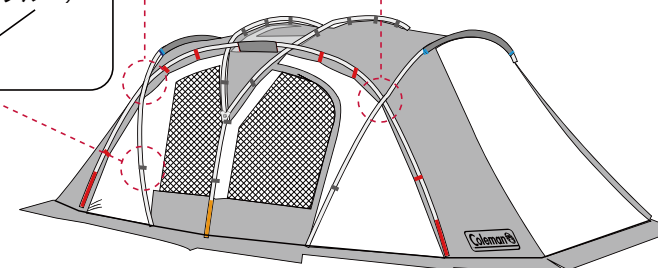
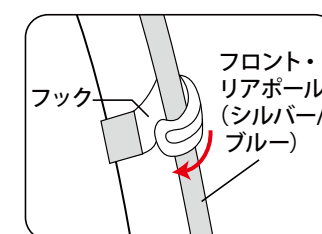
注意 ポールをスリーブに通す際、引っ張らず必ず押し入れてください。

STEP 12 フロント・リアポール（シルバー/ブルー）の端を、フライシートのクリップ（コードがブルー）に差し込みます。



注意 ポールをクリップに差し込む際、指をはさまないように注意してください。

STEP 13 フライシートについているフックをフロント・リアポールにかけ固定します。メインポールとフロント・リアポールの交差部を面ファスナーで固定します。



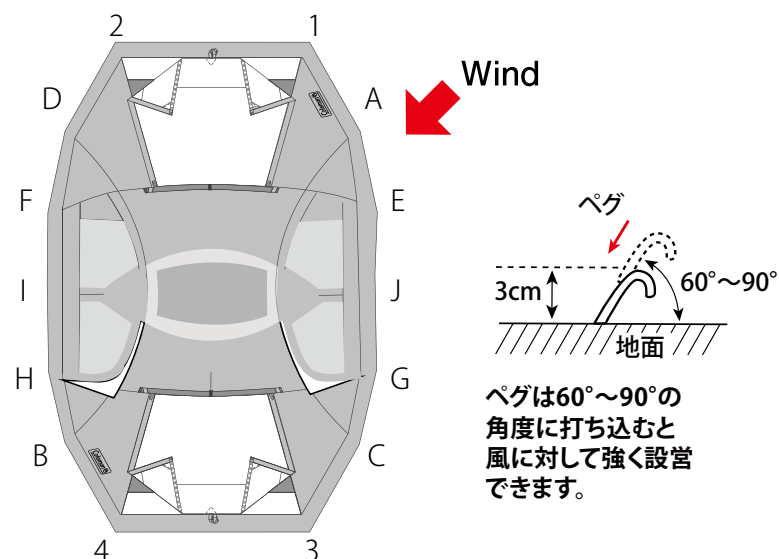
注意 フックをポールにかける際、指をはさまないように注意してください。

VI 設営位置を決め固定する

STEP 14 前後のキャノピー、サイドのドアのファスナーをすべて閉めます。

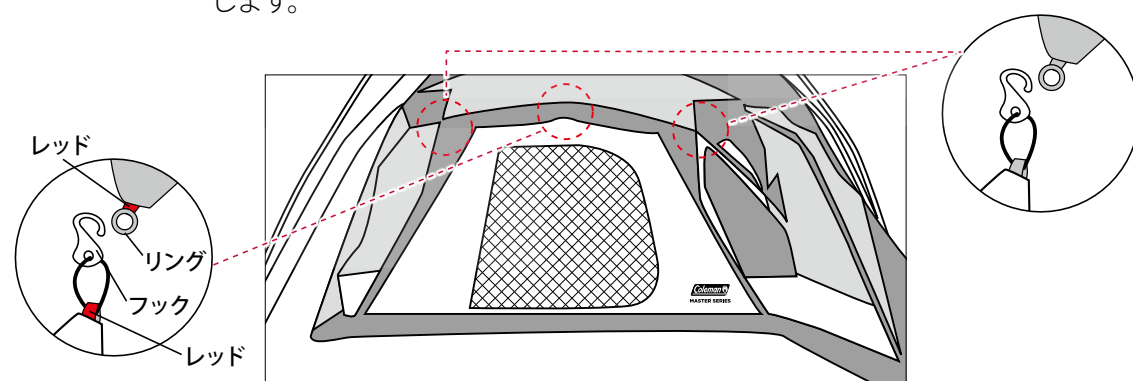
注意 ペグで固定する前に、必ずファスナーを閉じておいてください。ファスナーを開けたまま固定すると閉じられなくなる場合があります。

STEP15 設営位置を決め、図のように10ヶ所のループを風上より順に（A～J）対角線にペグを打ち込み、テントを固定します。
前後のループを張り出し、ペグで4ヶ所（1～4）を固定します。

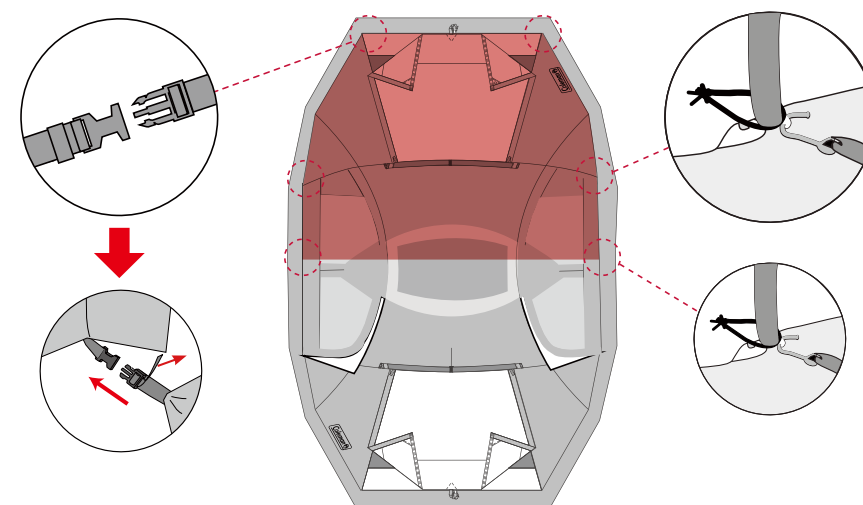


VII インナーテントをセットする

STEP16 インナーテントを吊り下げます。
フライシート内側にあるリングにインナーテントのフックをかけます。(天井部及び左右側面) インナーテントの上部からかけていきます。インナーテント上部中央の赤いテープのフックをフライシート側の赤いテープのリングにかけて位置合わせをします。

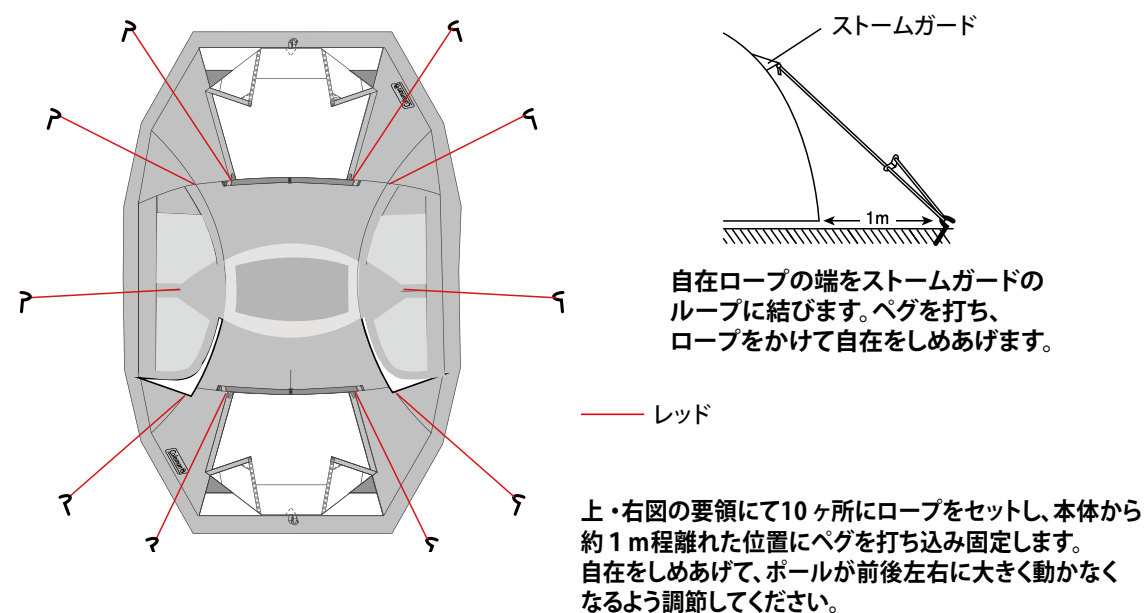


STEP17 インナーテントフロアのコーナー6ヶ所を固定します。
後側の2ヶ所はフライシートについているバックルにとめて固定します。
サイドと前側はリングにフックをかけて固定します。
6ヶ所全て固定したら、最後に後ろ側のバックルでフロアのシワの調整をします。



VIII ロープを張り固定する

STEP18 ストームガードシステム（ストームガードに付属のロープを結び、ペグで固定する方法）により、テントの安定性を高め、フライシートとインナーテントの接触を防ぎます。前後のループ及びストームガードに付属のロープを結び、図のようにペグで固定します。



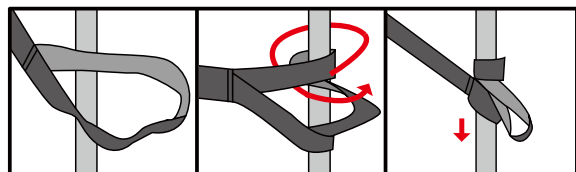


注意

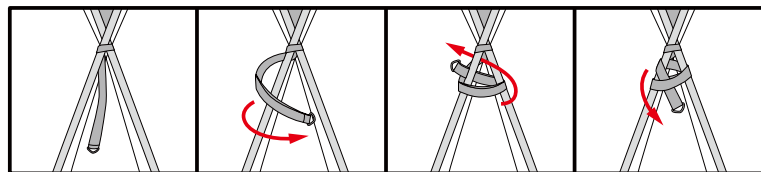
大きなサイズのテントは構造上、風の抵抗を受けやすくなっています。
「ストームガード」を必ずご活用ください。

ストームガード
本製品はストラップ状のストームガードをポールに巻きつけて固定することにより、安定性をさらに高めています。

シングルフレームのヶ所



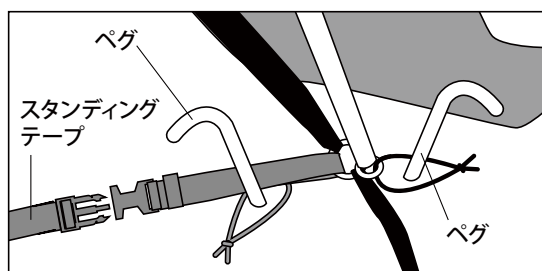
クロスフレームのヶ所



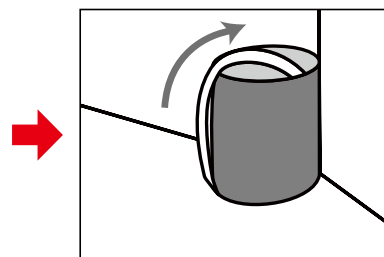
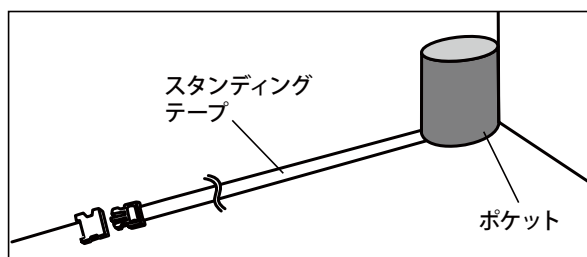
IX スタンディングテープを外す場合

STEP19

スタンディングテープを外す場合は、ポールをしっかりと固定するために図のように、内側と外側両側のループをペグで固定してください。
スタンディングテープをはずした後は、近くのポケットに収納してください。



内側用のペグは付属品に含まれておりませんので別途ご用意ください。



X

キャンピーを活用する

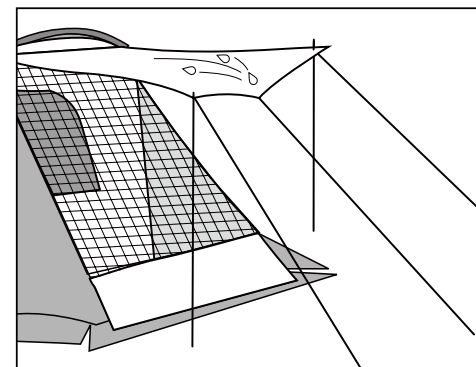
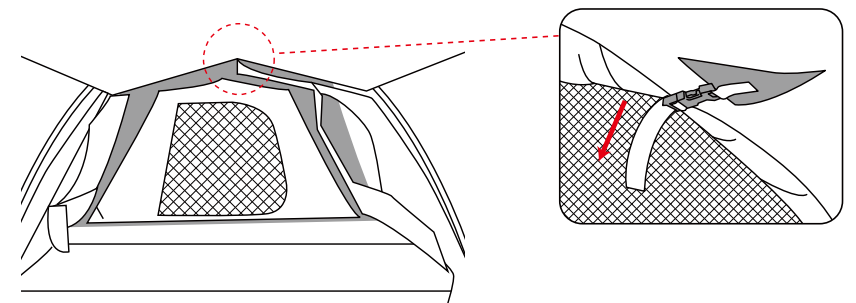
STEP20

キャンピーとして活用する場合は、付属のキャンピー用ポールを使用します。



ハイビューシステム

フロントキャンピーの中央部のバックルをしめることにより、中央部のたるみを取りキャンピーを高く使用できます。



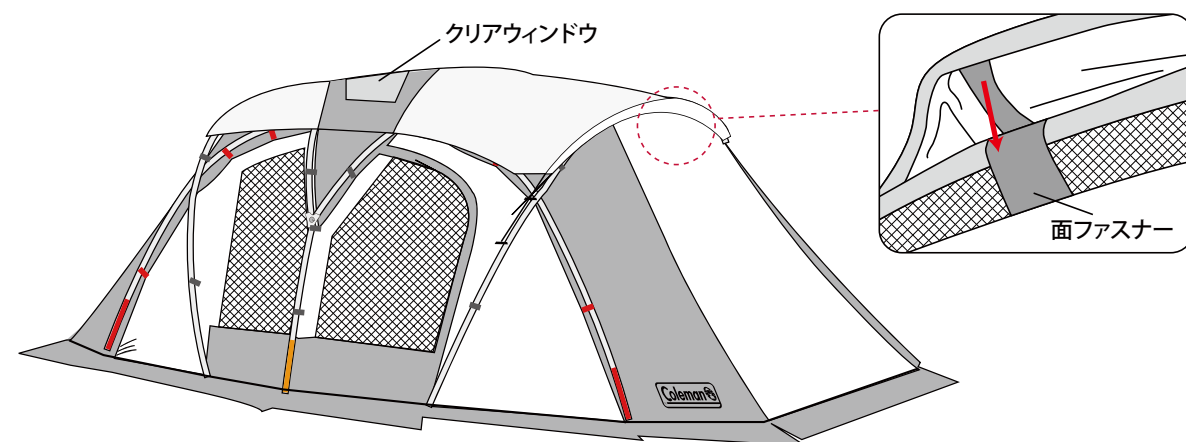
注意

雨天時にキャンピーを活用する際は、水がたまりやすくなりますので、傾斜を作るか、中央部にロープを結びペグ止めて雨水を流してください。

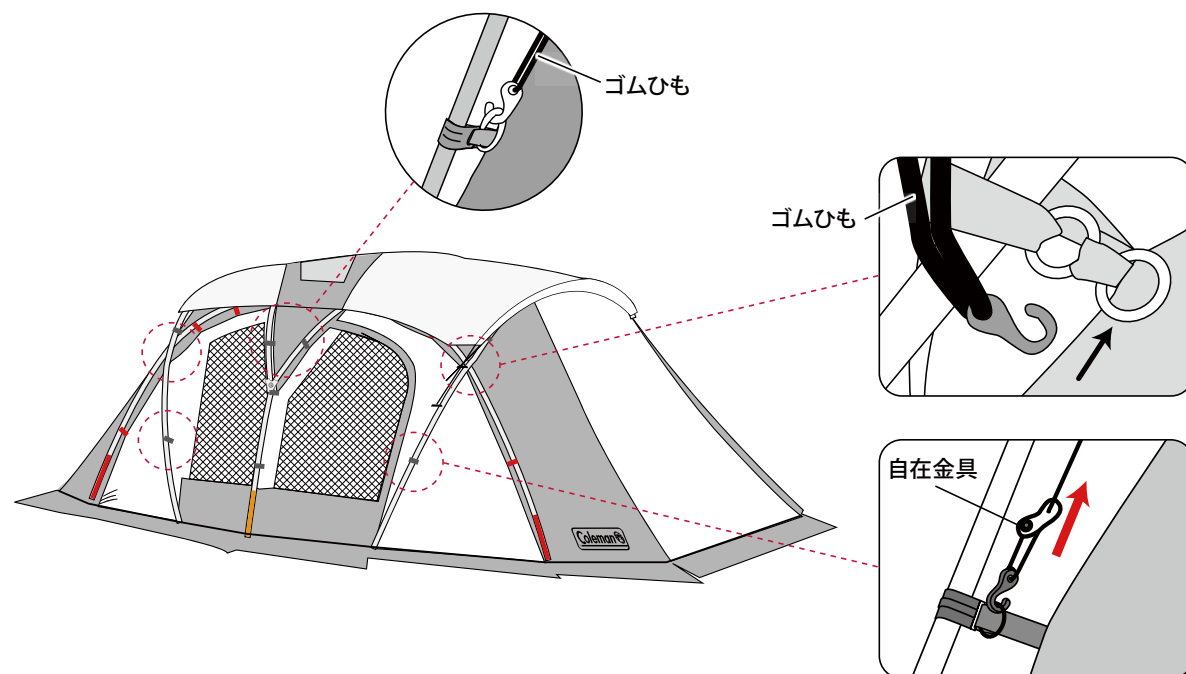
風の強い時は、必ずキャンピーを閉じてください。
ポールが折れる可能性があります。

XI ルーフフライをかぶせる場合

STEP 21 ルーフフライをかぶせ、面ファスナーで固定します。
前後のフロント・リアポールの中央部分の面ファスナーで固定します。

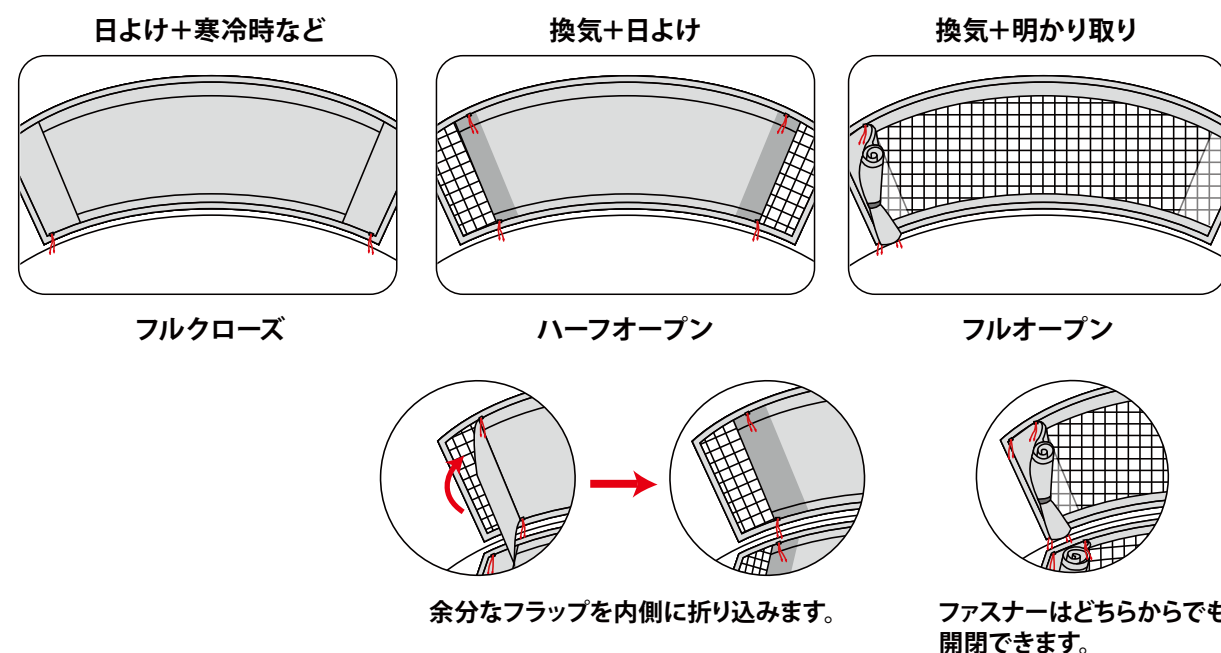


- ルーフフライ左右計8ヶ所のゴムひもに付いているフックをリングにかけます。
- ルーフフライの前後のコードに付いているフックをリングにかけて固定します。
- 自在金具を締め込みしっかりと固定します。
- ルーフフライにある面ファスナーでポールと固定します。



XII ベンチレーション・フロントキャノピーの使い方

STEP 22 ルーフベンチレーション
天井中央部のファスナーの開閉で、ベンチレーションと採光の調整ができます。



フロントキャノピーサイドウォール

